

輝く

田園風景と
地域にもとけ込む
カフェ

中林 淳^{じゅん}さん (39歳)
優子^{ゆうこ}さん (38歳)

(新和町大宮地)



【問い合わせ先】KOMAME cafe 中林さん
☎0969④1011 (営業時間11時~17時)

「これからは天草の海の幸などをメニューに取り入れたい。また、お客様がほっこり笑顔で過ごせるお店にしたい」と笑顔で話してくれた。

もとけ込んでいる。

「これからは天草の海の幸などをメニューに取り入れたい。また、お客様がほっこり笑顔で過ごせるお店にしたい」と笑顔で話してくれた。

新和町大宮地の田園風景にとけ込むKOMAME cafe(小豆カフェ)。中林淳さん(兵庫県出身)・優子さん(亀場町出身)夫婦が熊本市内から移住、古民家を改装して2年前に開店した。窓から広がる四季折々の景色をみながらゆっくりと食事ができるアットホームな雰囲気のお店。季節に応じてタイ風カレーやマレーシアの屋台料理など多国籍な料理を提供、コーヒーや自家製ケーキもおすすすめ。新和町の五穀米やメロン、イチゴなど食材はなるべく地元のものを使っている。子育てを機に天草への移住を決意し、それに伴い優子さんの夢であったカフェ開業へつなげた。市の空き家バンク制度を利用して探し、理想の物件がここにあった。

現在、3歳と1歳の子育て中。子どもといっしょに近所を散歩すると、「野菜もっていかんね」と声をかけられることもある。お隣さんがとても親切で、移住した当時から地域への窓口となってくれ、とても助かったという。地区の常会や草払い作業などには淳さんが積極的に参加し、親睦を大切にしている。最近では地元の人たちから「こまめちゃん」と声をかけられるようになり、地域にもとけ込んでいる。

短冊に願いを込めて

交通安全キャンペーン「七夕作戦」



短冊をつけた風船を飛ばす参加者

7月7日、五和町の手野保育所(全園児34人)で交通安全キャンペーン「七夕作戦」が行われました。手野保育所、保護者会、幼児交通安全クラブの主催で今年で35回目。親子でつくった標語の表彰や天草地区交通安全協会の講習員から横断歩道の渡り方の講習を受けた後、園児が交通安全の願いを書いた短冊を風船につけて飛ばしました。園児たちは大きな歓声をあげながら、大空に飛んでいく風船のようすをいつまでも眺めていました。

石本家をまちづくり拠点に活用

屋敷と土地の寄贈で叙勲



中村市長から紺綬褒章の伝達を受けた石本さん(右)

五和町御領の「豪商松坂屋(石本家)」の屋敷と土地を市へ寄贈された12代目当主の石本勝之丞^{かつのじょう}さんが、紺綬褒章^{こんじゆ}を受章されました。7月8日には、中村市長から石本さんへ紺綬褒章の伝達が行われました。当屋敷は、御領まちづくり振興会が中心となり休憩所として整備し、歴史を学び、食を通じたおもてなし活動を行う拠点として活用されます。石本さんは「地域のために活用されてとてもうれしい」と話していました。

全国のジオパークの展示物がズラリ!

御所浦白亜紀資料館特別展



展示物に見入る来場者

「御所浦白亜紀資料館特別展」が、御所浦白亜紀資料館で8月31日まで開かれています。今回は「天草ジオパークと日本のジオパーク」と題し、天草と全国38地域のジオパークの岩石やグッズなど300点を展示。

このほか、第18回恐竜絵画コンテスト入賞作品展や、化石採集や伝馬船のろこぎなどの体験も実施。開催初日の7月16日には家族づれなどが来場し、貴重な展示物に見入っていました。詳細は、同資料館☎⑦2325へ。

海の安全をお願いしたよ

立海水浴場海開き



▲神事^{なまて}のようす

7月3日、新和町^{なて}の立海水浴場で海開きが行われました。宮南地区振興会主催で行われた神事には地域住民20人が参加し、海の安全を祈願。利用者を代表して、新和小4年の竹内龍聖^{りゅうせい}くんが玉ぐしをささげました。終了後、待ちわびた子ども達は海に入り、初泳ぎを楽しんだ後、スイカ割りを実施。スイカは、海水浴場の清掃活動を行っている地区老人会の皆さんにふるまわれました。